

# めぐみ

発行元 社会福祉法人清光会 障がい福祉サービス事業 恵誠の里  
〒598-0024 大阪府泉佐野市上之郷2007番地の1  
発行者 施設長 樋口力  
TEL 072(467)1181 FAX 072(467)2281  
HP <http://s-seikoukai.or.jp/keiseinosato>

## 新滝の池を散策♪



## ～新年度を迎えて～

清光会で25年。これからも・・・！

年月が経つのは非常に早いもので、私が清光会に勤めて25年が過ぎました。ふと「光陰矢の如し」という言葉が脳裏に浮かび、「時間と言うものは退屈なほどに長く、緩やかに流れるものだ」と思っていた頃もありましたが、先人のことわざはしっかりと的を射ており、あつという間の四半世紀でした。

平成が終わり、令和の時代が始まります。皆様の中にも「ついこの間まで昭和だったのに…」と、時が経つのが早く感じられた方も居るのではないのでしょうか？

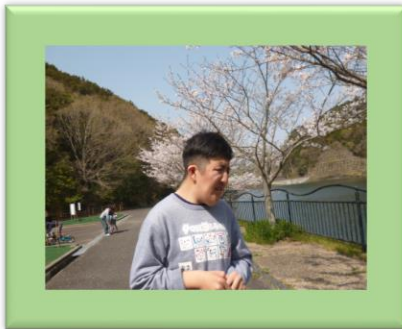
年齢を重ねるごとに時間が短く感じられる現象を「ジャンネの法則」といいます。フランスの哲学者・ポール・ジャンネが提唱した法則であり、例えば10歳の子供にとっての1年の長さは人生の10分の1ですが、50歳の人間にとっては50分の1にしか過ぎない為、年齢を重ねればかさねるほど1年が短く感じられるという考え方です。つまり、50歳の人にとっての今後の10年は子供の1年にあたり、5歳の子供の1年と同等と言う事になります。さらに細かく数えると5歳の子の1日は、50歳の人の10日にあたり…。

学生時代、この法則を学んだ時に「なんとなく意味は分かるけれども理解に繋がらなかった」事を思い出しました。振り返ってみれば、たしかに少年の頃の時間はとてつもなく長い時間だったと今更ながらに感慨深くなりました。

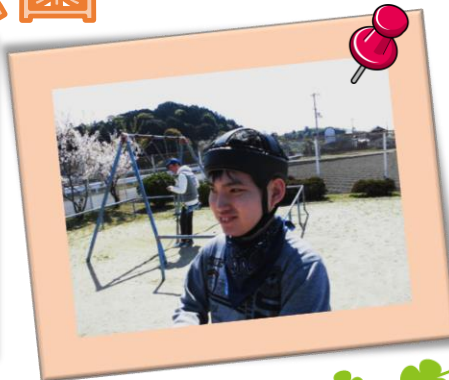
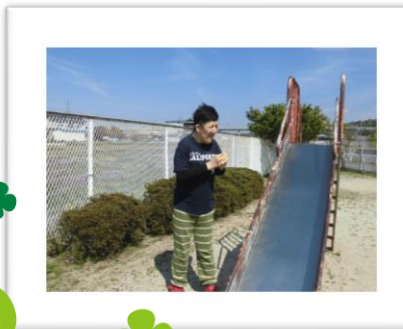
月日が流れても、今までと変わらずに健やかな生活を営み続ける。この考えは誰もが思い描いている未来予想図です。しかし、ご利用者も確実に年齢を重ね、必然的に、少しずつニーズに変化が生じます。恵誠の里では、出来なくなったから、それを理由に諦めるのではなく、何か他の方法はないのか？どのように支援を改善すれば出来るのかと仮説を立てて考察し、一步一步前に進む支援を目指しています。これからも職員一同、ご利用者の声に出来ないニーズなどにも気が付ける感性を磨き続け、精一杯支援を行わせていただきますので、今後ともご理解とご協力の程よろしくお願い申し上げます。

サービス管理責任者 柳橋賢治

# ～お花見風景～ in新滝の池



## in女形児童公園



## ～春の散策～



## in阪南スカイタウン



## 恵誠の里でのひきこもり支援について

近年、ひきこもりが様々なメディアで取り上げられる事も多くなり、社会的な関心が集まっています。しかし、支援体制についてはまだまだ整備が必要な点も多く、支援が行き届いていないのが現状です。制度の壁があり行政では対応しきれない事例や、支援団体の情報が行き届かず支援に繋がりにくい為、どうしたらよいか困っているご家族も少なくありません。そんな中、私たちは地域で困っているひきこもり当事者やご家族を孤立させない為にも、地域貢献事業の一環としてひきこもり支援に取り組んでいこうと考えています。

恵誠の里では3つの支援を柱として、1つは「適切な支援に繋がる事が出来るようにひきこもり相談の窓口を設け、様々な支援機関や家族会等の紹介、また医療的ケアが必要な際は専門医に関する情報提供を行う」2つ目に「家族支援として問題を悪化させる要因を知り、適切な対応をする事や、適切な対応をするためには、良好な家族関係が必要になる」という認識を共有し、家庭での当事者との接し方について助言を行ったり、ひきこもりに関する専門的な知識を伝える等の取り組みを行う。最後の3つ目は「当事者の居場所支援としてボランティアの受け入れを行う」の3点を考えています。ひきこもりについて理解のある環境の中でそれぞれのペースに合わせた社会参加への取り組みを行い、地域社会との繋がりを持ち、その中で様々な経験を積む事で自信を獲得し、徐々に社会参加へ移行できる様に支援できればと思っています。

今後の展開については、多様なニーズに応える事が出来るように地域でのひきこもりに関する支援ネットワークを構築し、本人主体の支援体制を整えていく事が必要だと考えています。また、地域から家族ごと孤立しない為にもひきこもりに関する適切な認識を広める活動や地域の寛容な姿勢も必要になります。恵誠の里としては、微力ではありますが上記のような地道な活動を続け、すべての人がその人らしく共存できる社会の実現に向けた一助を担えたら幸いだと考えています。

## 清光会和太鼓 韻

～カレーサミットに参加して～

4月7日、泉佐野市総合文化センターの敷地内にてカレーサミットが開催されました。清光会和太鼓韻も参加させて頂き、「空」や「大地」、「森羅万象」などのオリジナル曲を披露させて頂きました。力強く太鼓を叩く姿に会場は大盛り上がり！職員との息もピッタリでした。また、昼食にと企画者様から頂いたカレーは絶品で、屋台のコロッケや唐揚げと一緒に頂きました。その間も他チームの演奏が続き、桜が彩を与えていました。帰ってから余韻が冷めやらぬ様子で、口々に「また行きたい」、「楽しかった」と感想を話されていました。

支援員 今村友哉

## ☆講習会に参加して☆

桜が綺麗な4月6日、熊取町煉瓦館にて(福)熊取ひまわり福社会主催、大阪大谷大学小田教授による講演会「多様なニーズの人の理解と支援について」に参加しました。ICF(国際生活機能分類)の考えに沿った合理的配慮。たとえそれが小さな配慮であっても、障がいを抱える方にとっては大きな生きる力になること。バリアフリーの概念を発展させ、障がいを抱える方だけでなく、全ての人が安心、安全、そして快適に利用する事が出来る施設環境の構築を目ざすユニバーサルデザイン等について学ばせてもらいました。ご利用者・ご家族が期待する支援がそれぞれ異なるだけでなく多様であることを再認識する事が出来たので、今後の支援に活かしていきたいと考えます。



支援員 渡邊兼一

## 新人職員紹介



平田 諒  
ひらた りょう

みなさま初めまして、平田諒です。  
福祉業界は未経験で入職いたしました。現在は上司  
や  
先輩のご指導をいただき業務を覚えているところです。  
見かけた際は、お気軽にお声掛けください！

4月から支援員として勤務しています西浦真生です。  
福祉施設での仕事は初めてですが、一生懸命頑張  
りますのでよろしくお願いします。  
趣味:カラオケ



西浦 真生  
にしうら まい

## 新しい車を購入しました！



## 退職職員 中井守 支援員

この度、4月30日をもちまして退職する事になりました。  
この8年間に多くのご利用者様と関わりを持てた時間は、私に  
とって、何ものにも替え難いとても貴重なものとなり、今後の  
人生の糧にしたいと思っております。  
ご利用者、ご家族、一緒に働いた皆様に心よりお礼申し上げます。



利用相談・見学・体験利用について随時受け付けております。  
サービス内容は事業所ホームページに記載しておりますので、どうぞご覧下さい。  
(電話での相談もお受けします。Tel 072-467-1181)

ご連絡お待ちしております。受付 谷口

作業提供ありがとうございます。

松井縫製加工所様  
(有)丸甚製作所様  
(有)ハナトミ様  
(株)山義様(順不同)

### 《編集後記》

広報誌「めぐみ」も、発行をスタートして12年となりました。前記  
の様に、ご利用者の活動風景など、恵誠の里での活動や取り  
組みを、皆様に紹介できる紙面づくりに努めてまいります。皆様  
のご意見・ご感想をお寄せ頂きますよう、よろしくお願いいたします。  
す。